

日本歯科基礎医学会, 東京都, 9月25日, 日本歯科基礎医学会雑誌41(5), p432, 1999.

11) 石橋 幸, 川島博行: マウスestrogen receptor 遺伝子プロモーターのクローニングと解析. 第22回日本分子生物学会年会, 12月9日, プログラム講演予稿集, p520, 1999.

12) 関根圭輔, 大内淑代, 藤原正範, 山崎正博, 吉澤達也, 佐藤隆史, 八木下尚子, 松井大輔, 川口 浩, 小関良彦, 伊藤信行, 加藤茂明: FGF10は手足および肺形成に必須である. 第22回日本分子生物学会年会, 12月9日, プログラム講演予稿集, p520, 1999.

13) 吉澤達也 他: ビタミンDレセプター(VDR)とビタミンAレセプター(RXR)の二重遺伝子欠損マウスの解析, 第51回日本ビタミン学会, 1999.

14) 吉澤達也 他: ビタミンDレセプターの高次機能と疾患との関連, 第36回日本臨床分子医学会, 1999.

15) 吉澤達也 他: ビタミンDレセプター(VDR)とビタミンAレセプター(RXR)の二重遺伝子欠損マウスの解析. 第53回日本栄養・食料学会, 1999.

16) 川瀬知之, 奥田一博, 吉江弘正, 片桐正隆, 土持眞: 特発性歯肉過形成由来細胞のCGRPに対する初期反応. 第41回歯科基礎医学会総会, 東京都, 9月25日, 日本歯科基礎医学会雑誌41(5), p436, 1999.

17) 川瀬知之: カルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)による特発性歯肉過形成症由来細胞の活性化機構. 第50回日本薬理学会北部会, 仙台, 10月15日, 1999.

18) 奥田一博, 川瀬知之, 吉江弘正: 特発性歯肉過形成由来細胞はCGRPに対して高いcAMP反応性を示す. 第42回日本歯周病学会秋季学術大会, 横浜, 10月23日, 1999.

歯科理工学講座

【論文】

1) Baltag, I., Watanabe, K., Kusakari, H., Taguchi, N., Miyakawa, O., Kobayashi, M., and Ito, N.: Long-term Changes of Hydroxyapatite-Coated Dental Implants. *J Biomed Mater Res. (Appl Biomater)* 53: 76-85, 2000.

2) Akhter R., Okawa, S., Nakano, S., Kobayashi, M., and Miyakawa, O.: Surface Composition and Structure of Titanium Polished with Aqueous Slurry of Ferric Oxide, *Dental Materials J*, 19(1), 10-21, 2000.

3) 大川成剛, 渡辺孝一, 金谷 貢, 中野周二, 宮川 修, 小林正義: 安定化ジルコニアでカプセル化した石英を含むチタン鑄造用埋没材 鑄造体の機械的性質と表面反応層, *歯科材料・器械*, 18(4), 287-294, 1999.

4) 大川成剛, 渡辺孝一, 金谷 貢, 中野周二, 宮川 修: 鑄造時の鑄型空洞の圧力挙動 - 一室加圧型鑄造機の場合 -, *歯科材料・器械*, 19(1): 108-114, 2000.

【著書】

1) 宮川 修: 日本ME学会編(分担執筆) ME用語辞典, コロナ社, 東京, 1999.

【商業誌】

1) Stegaroiu, R., Kusakari, H., Nishiyama, S., and Miyakawa, O.: 補綴装置の材質が骨およびインプラントに及ぼす影響(三次元有限要素解析), *Quintessence Dental Implantology*, 16(2), 238-240, 1999.

2) 宮川 修: <歯科臨床のための骨の科学5> インプラントの表面性状と骨組織, *the Quintessence*, 18(5), 178-182, 1999.

3) 金谷 貢, 堀田憲康, 宮川 修, 河野正司, 小林正義: 金合金を用いたキャストオンテックにおける鑄造体の局所的変形と鑄造性, *Quintessence of Dental Technology*, 24(11) 23-30, 1999.

【講演・シンポジウム】

1) 渡辺孝一: X線マイクロアナライザーの医学への応用, 第34回日本歯科理工学会学術講演会シンポジウム「歯科理工学と医学 - 材料・器械のさまざまな展開 - 」, 札幌, 平成11年10月10日(歯科材料・器械, 18(Special Issue 34), 234, 1999)

【学会発表】

1) O.Miyakawa: Surface Composition of Titanium Polished with Various Abrasives, '99 Sino-Japanese Conference on Stomatology, Beijing, China, June 27, 1999 (ABSTRACTS 146)

2) 大川成剛, 金谷 貢, 中野周二, 宮川 修, 小林正義: 電解複合研磨用の導電性ポイントの試作, 第33回日本歯科理工学会学術講演会, 川崎, 平成11年4月2日(歯科材料・器械, 18(Special Issue 33), 66, 1999)

3) 金谷 貢, 大川成剛, 渡辺孝一, 中野周二, 宮川 修, 小林正義: 高齢者および在宅歯科医療のための材料・術式の研究開発に関する一考察 - 喪失歯牙補綴物の将来推計量からみた必要性 -, 第33回日本歯科理工学会学術講演会, 川崎, 平成11年4月2日(歯科材料・器械, 18(Special Issue 33), 79, 1999)

4) 三村喜一郎, 渡辺孝一, 小林正義, 宮川 修: 市販HAインプラントコーティング層の性状と下地金属への結合, 平成11年度(第32回)新潟歯学会総会, 新潟, 平成11年4月17日(新潟歯学会雑誌, 29(1), 57, 1999)

5) 富田文人, 山賀雅裕, 子田晃一, 宮川 修, 岩久正明: 高速切削器具としての増速コントラングルハンドピースの諸特性, 平成11年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 平成11年7月10日(新潟歯学会雑誌, 29(2), 204, 1999)

- 6) 金谷 貢, 大川成剛, 渡辺孝一, 中野周二, 宮川修: 喪失歯に対する補綴物数の将来推計において回帰分析に補正を加えた場合の予測, 第34回日本歯科理工学会学術講演会, 札幌, 平成11年10月10日(歯科材料・器械, 18(Special Issue 34), 178, 1999)
- 7) 渡辺孝一, 大川成剛, 金谷 貢, 岡部 徹, 宮川修: チタン用加圧鑄造機で現れる実質鑄造力の理論的検討, 第34回日本歯科理工学会学術講演会, 札幌, 平成11年10月10日(歯科材料・器械, 18(Special Issue 34), 212, 1999)
- 8) 多田伸一郎, 草刈 玄, Stegaroiu Roxana, 宮川修: 骨質とインプラントの形態が周囲骨の応力分散に及ぼす影響, 第102回日本歯科補綴学会学術大会, 名古屋, 平成11年10月22日(日本補綴歯科学会雑誌, 43巻102回特別号, 48, 1999)
- 9) 多田伸一郎, 草刈 玄, Stegaroiu Roxana, 宮川修: 骨の性状がインプラント周囲骨の応力分散に及ぼす影響, 平成11年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 平成11年11月13日(新潟歯学会雑誌, 29(2), 216, 1999)
- 10) 渡邊孝一, 大川成剛, 金谷 貢, 中野周二, 宮川修, 小林正義: 二室加圧型鑄造機における鑄造欠陥軽減のためのテクニク, 第13回歯科チタン研究会, 鶴見, 平成12年2月19日(第13回歯科チタン研究会講演抄録集, 8-9, 2000)
- 11) 大川成剛, 金谷 貢, 渡邊孝一, 中野周二, 小林正義, 宮川 修: ハンクス溶液中に浸漬したチタンミニプレートの表面分析, 第13回歯科チタン研究会, 鶴見, 平成12年2月20日(第13回歯科チタン研究会講演抄録集, 42-43, 2000)

【研究会発表】

- 1) 金谷 貢: 補綴物数の将来推計からみた高齢者および在宅歯科医療用材料・器械の研究の必要性に関する一考察, 平成11年度日本歯科理工学会中部支部夏期研修会一般講演, 岐阜, 平成11年8月26日

予防歯科学講座

【論文】

- 1) Ekanayake, L., Mendis, R., Ando, Y. and Miyazaki, H.: Knowledge, Attitudes and behaviors about oral health and factors affecting tooth brushing frequency in adolescents in Sri Lanka, J. Dent. Hlth., 49, 771-779, 1999.
- 2) Chen, X., Ansai, T., Awano, S., Iida, T., Barik, S. and Takehara, T.: Isolation, cloning, and expression of an acid phosphatase containing phosphotyrosyl phosphatase activity from *prevotella intermedia*, J. Bacteriol., 181, 7107-7114, 1999.
- 3) Yoshihara, A., Sakuma, S., Wang, J., Matsumura, S.,

Shimono, T. and Miyazaki, H.: Factors related to dental caries prevalence in children with low caries level, J. Dent. Hlth., 50, 83-88, 2000.

- 4) 安藤雄一, 河村 真, 池田俊也, 池上直己: 小児に対する歯科診療の実態, 病院管理, 36, 165-172, 1999.
- 5) 佐久間汐子, 葭原明弘, 小林清吾, 宮崎秀夫: フッ化物洗口学童のシーラント処置歯の要観察期間, 口腔衛生会誌, 49, 178-185, 1999.
- 6) 葭原明弘, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 小学校児童における褐色窩溝を所有する第一大臼歯のう蝕進行率について, 口腔衛生会誌, 49, 324-328, 1999.
- 7) 西田康文, 八木 稔, 小林秀人, 八木文子: ある地域ベースの乳歯う蝕予防プログラムに関する評価 - プリシード/プロシードモデルを用いて -, 口腔衛生会誌, 49, 329-340, 1999.
- 8) 宮崎秀夫, 荒尾宗孝, 岡村和彦, 川口陽子, 豊福明, 星 佳芳, 八重垣健: 口臭症分類の試みとその治療必要性, 新潟歯学会誌, 29, 11-15, 1999.
- 9) 葭原明弘, 八木 稔, 澤村恵美子, 金子 昇, 宮崎秀夫: 個別指導およびパンフレット郵送の成人歯科保健に対する有効性 - 成人女性を対象として -, 口腔衛生会誌, 49, 809-815, 1999.
- 10) 前田秀夫, 八木 稔, 平川 敬, 佐久間汐子, 野上成樹: 和歌山県の一地域において展開された学校ベースのフッ化物洗口プログラム - 齲蝕減少期におけるその齲蝕予防効果 -, 口腔衛生会誌, 50, 63-68, 2000.
- 11) 高德幸男, 佐久間汐子, 岸 洋志: 乳歯う蝕多発傾向児スクリーニングシステム導入による地域う蝕予防管理プログラムの成果, 口腔衛生会誌, 50, 69-77, 2000.

【著書】

- 1) 宮崎秀夫: う蝕の診断基準, 実践予防歯科(予防歯科臨床教育協議会編), 医歯薬出版, 東京, 10-11, 1999.
- 2) 佐久間汐子: フッ化物歯面塗布, 実践予防歯科(予防歯科臨床教育協議会編), 医歯薬出版, 東京, 39-40, 1999.
- 3) 八木 稔: フッ化物配合歯磨剤, 実践予防歯科(予防歯科臨床教育協議会編), 医歯薬出版, 東京, 41-42, 1999.
- 4) 佐久間汐子: フッ化物洗口とフィッシャーシーラントの複合, 実践予防歯科(予防歯科臨床教育協議会編), 医歯薬出版, 東京, 238-240, 1999.

【商業誌】

- 1) 瀧口 徹, 永瀬吉彦, 安藤雄一, 上條英之, 小椋